

koedo-kawagoe  
OMOTENASHI

小江戸川越

# おもてなし

特集

## 明治の川越

川越の現在<sup>いま</sup>につながる、先人の軌跡

もっと知りたい！

ときも

連載

おもてなしのこころ③

会員活動紹介

川越幸<sup>こう</sup>／炉端<sup>ろばん</sup>／CHINCHOGE CAFE/BAR

Trattoria Caro／TePAN Le OMUS

2019.WINTER



時 煙るまち 川越

小江戸川越観光協会

# きもので初詣

好評！“きもので初詣ツアーハ”を今年も企画しました！  
袖を通してみたかたきもの／お気に入りのきものを着て  
喜多院・氷川神社に初詣に出かけましょう！



喜多院



氷川神社

## 新年を迎えて

小江戸川越観光協会会長

糸原恒久（蓮馨寺住職）



向けて、皆様と共に前進してまいりたいと念願するものであります。

### 国際観光都市へ

今、川越には多くの外国のお客様がお見えになることが日常的現象となりました。近隣の国々のみならず、欧米の方々があこがれの目を持って、おいでになる状況が生まれています。

「国際化」、今やこれは川越の新たなイメージ、目標となるキーワードとなっています。既に各商店様や、観光案内所など、外国语会話対応の体制が整いつつあることは、誠に有難い事であります。

会員の皆様におかれましては、日頃より当協会にご理解ご協力を賜り心より御礼申し上げます。川越はすでに、年間700万人以上が訪れる観光地となり、首都圏の観光拠点として、各方面からの熱い注目を集めています。また、平成30年は明治初年から150年、文化史跡の現、埼玉りそな銀行川越支店建築100年、また、蔵造りの町並みが造られた契機となつた川越大火以来125年という、各々意義深い年だつたのであります。更に二年後には

オリンピック競技の開催地として、より多くのお客様を迎える時期を迎えています。新会報誌の発行も2年目となり益々ご好評を頂いておりますが、今後とも、当協会は川越の安定した観光地としての体制確立と品位ある発展に

### 観光の未来に向けて

これまで、当協会は近隣の各都市の協会様と手と手をつなぎ、地域の輪を広めつつ、互いにお客様の相互訪問や回遊の提唱を計つてまいりましたが、



蓮馨寺

この度、国の助成を仰ぎつつ、市当局様、商工会議所様と一緒に「D M.O.」という組織を立ち上げることになりました。これは観光来訪の皆様や

市民の皆様に対し、観光はじめ地域商店街や企業活動の内容、商品やあらゆるイベントの情報など、多岐にわたる広範囲な情報を即座に提供し連携する中で、より高い経済効果を地域にもたらし、同時に観光事業の活性化を目指す新システムであります。これからも、会員の皆様をはじめとする多くの市民の方々のご賛同のもとに、観光事業の発展と地域への貢献を真摯に目指してまいります。皆様におかれましては、更なるご理解とご協力、ご指導の程宜しくお願ひ申し上げます。

- 1 新年を迎えて
- 2 特集  
**明治の川越** 川越の現在につながる、先人の軌跡
- 8 もっと知りたい！  
**川越市マスコットキャラクター“ときも”**
- 10 会員活動紹介
- 12 連載 おもてなしのこころ③
- 14 川越市観光案内所ってこんなところ／おもてなし Information

koedo-kawagoe  
OMOTENASHI  
2019.WINTER  
Contents

平成30年は明治150年という記念の年となりました。

川越は歴史の重層のうえにいま現在が息づいている街。

現在に残る町並みが形成されたのは

明治26年(1893)：「ここから125年」の川越大火の後、

復興まちづくりのシンボルとして選ばれたのが蔵造りでした。

復興がいち早く遂げられた背景には、

寛永15年(1638)：「ここから380年」の大火灾後に

藩主となつた松平信綱が、道路拡幅など防火対策に

重点を置いた町割り（都市計画）を実施していったことが

挙げられます。知恵伊豆信綱による整備は今も

旧市街の都市構造の基礎となり、

様々な場所に往時の面影をとどめています。

江戸時代の町割りの上に、明治には蔵造りの町並みが形成され、大正時代になると、西洋文化の影響を受けた八十五銀行本店（埼玉りそな銀行川越支店）の建物が新しいシンボルとして大正7年(1918)：「ここから100年」に加わり、昭和初期に連なる庶民派の洋風町家も登場しました。

それぞれの時代を映す建築、それと共に伝統的な生活文化を今に継承するわが街。いくつもの記念年が重なった年を越しつつ、「これまで」に学び、「これから」の展開に

ぜひ思いをはせてみましょう。

## 特集

# 明治の川越

川越の現在につながる、先人の軌跡

- 明治4(1871)年  
川越藩が廢藩置県によって廃止され、新たに川越県が成立。  
4ヶ月後に入間県に吸収、明治6年(1873)には熊谷県、明治9年(1876)に現在の埼玉県となる。
- 明治11(1878)年  
第八十五国立銀行設立
- 明治12(1879)年  
仙波河岸の開設
- 明治22(1889)年  
川越町の発足
- 明治26(1893)年  
川越大火
- 明治27(1894)年  
時の鐘再建
- 明治28(1895)年  
川越鉄道(後の西武鉄道)開通
- 明治30(1897)年  
星野女塾(現星野高等学校)開校
- 明治32(1899)年  
県立川越中学校(現川越高校)開校
- 明治33(1900)年  
川越商業会議所(現商工会議所)設立
- 明治39(1906)年  
川越電気鉄道開設
- 明治41(1908)年  
県立川越染織学校(現川越工業高等学校)開校
- 明治43(1910)年  
未曾有の大洪水、川越織物市場開設
- 明治44(1911)年  
県立川越高等女学校(現川越女子高等学校)開校





# 写真で見る明治の川越 Topics

明治時代、川越にはさまざまなことが起こっていました。今の川越に通じる明治の代表的な6つのトピックスを、貴重な古写真とともに紹介します。

※「第2回企画展 写真展 明治・大正・昭和の川越」(1990. 川越市立博物館)より転載

明治23年

## 川越北尋常小学校の上棟

現在の川越小学校です。明治23年に川越尋常小学校として郭町に創立し、同35年に北尋常小学校と改名しました。明治38年に校舎を新築したときの写真です。当時の生徒数は858人、学級数16、職員15人でした。



明治43年

## 赤間川の氾濫

明治43年8月2~9日、連日続いた大雨のため大洪水となりました。県内では死者324人、流失家屋1,632戸という未曾有の大災害となり、川越でも赤間川が氾濫し、土地の低い地域が水没しました。



明治34年

## 川越の米穀市

明治34年に川越米外三品取引所が解散すると、米穀取引の中心は、志義町（仲町・松江町二丁目）に移りました。志義町通り周辺には、十数軒の米問屋が集中し、2・6・9のつく日の月9回の定期市が開かれました。写真は、足立要米穀店です。



明治39年

## 川越電気鉄道

川越電気鉄道は、通称「チンチン電車」と呼ばれ、明治39年4月に開通しました。30分間隔の発車で大宮までの所要時間は50分を要しました。これは荒川手前の黒須停車場付近の写真です。



明治末期

## 新造船の進水式

明治末期頃の寺尾河岸での写真です。寺尾河岸には2軒以上の船大工がいて、注文に応じて船を作っていました。進水式には建物の建前と同じように幣串や弓矢を建ててお祝いをしました。



＼もっと知りたい！／

# 川越市マスコットキャラクター

## “ときも”



小江戸川越観光協会  
オリジナルグッズを  
ご紹介します！



ときもストラップ  
500円

小江戸川越観光のお土産に  
最適です。



ときもぬいぐるみ(小)  
800円

机の上で、いつも一緒に。  
後ろ姿もかわいい。



ときもぬいぐるみ(中)  
1,200円

子どもたちに一番人気のサ  
イズです。



ときもぬいぐるみ(大)  
2,000円

大きなときは、ぜひお店  
の入り口に！



川越いも茶  
150円

ほのかに香る甘みがやみつきになります。



川越の水  
120円

時の鐘のパッケージがうれ  
しい、川越の天然水。



川越まつりDVD  
2000円

約45分間、祭りの迫力を楽しめます！



蔵の街



時の鐘

名刺台紙(蔵の街・時の鐘)  
各500円(100枚)

名刺をちょっとおしゃれにしてみませんか？

※値段はすべて税込です。

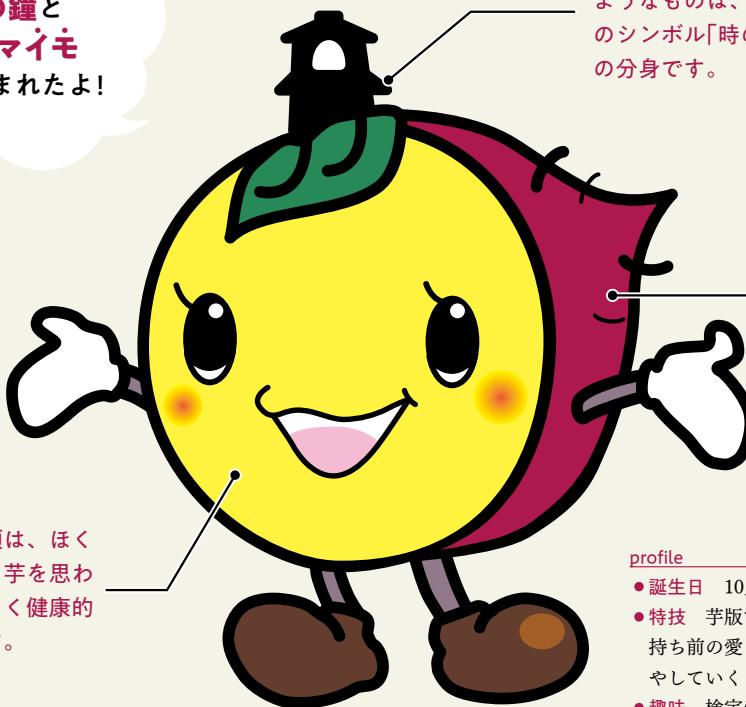
※委託販売を希望される場合は、小江戸川越観光協会までお問い合わせください。

※札の辻観光案内所ではすべての商品を取り扱っています。

時の鐘と  
サツマイモ  
から生まれたよ！

頭の上の黒い帽子の  
ようなものは、川越  
のシンボル「時の鐘」  
の分身です。

体は「紅赤」(べに  
あか)という品種と  
同じ紅赤色。



まあるい顔は、ほく  
ほくの焼き芋を思わ  
せる、明るく健康的  
な黄色です。

### profile

- 誕生日 10月13日（さつまいもの日）
- 特技 芋版で自分の姿をスタンプすること。  
持ち前の愛らしさで芋づる式に友だちを増  
やしていくこと
- 趣味 検定受験、烟しごと
- 好きな食べ物 烤芋、B級グルメ
- 好きな言葉 九里よりうまい十三里、友だ  
ちの友だちは皆友だち
- 座右の銘 Time is money (時は鐘鳴り!?)

川越市の公式キャラクター「ときも」は  
その愛らしさで市内外でも人気のキャラクターです。  
川越市へ申請・許可を受けると、イベントで着ぐるみを使用したり、  
キャラクターを使った商品を販売することもできます。

詳細は川越市役所 HP をご参照ください。

<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>



## 老舗が取り組む、新しい試み。

現在、海外から多くの観光者が訪れる川越で、特にムスリムの食事に着目した老舗店「川越幸すし」。ハラール料理への取り組みを伺いました。



川越全体を盛り上げていきたい！

### 炉端 いっしょけんめい



とにかく高いリピーター率を誇るいっしょけんめい。経営する株式会社竹悠は、川越市駅前にも二店舗を開いている。立ち飲み、バルといずれも異なる魅力が街の人を惹きつける。飲食店のつながりを大切にすることで、目指すのは「1日中楽しめる川越の発信」だ。



地域の方には感謝の言葉しかありません

### Trattoria Caro



大正浪漫夢通りに位置するお店は、少し奥まったところに入り口があり、落ち着いた空間で食事が楽しめる。平日は地元客が多いが、近年の休日の昼は日本人観光客がほとんど。充実したメニューに加え、今後は川越ならではの食材を活かしたものを考案していく予定だ。

飲食店のつながりを、もっと深めていきたい

## 川越に吹き込む、新しい風。

老舗店が多いことで知られる川越の街で、新しい取り組みを積極的に行う会員の店舗をピックアップ！



スタッフが考案した内装も楽しんで！

### CHINCHOGE CAFE/BAR



川越市脇田町 4-16  
平和ビル 2F  
049-222-3366  
11:30-23:00 (L.O.)  
不定休

2014年からクレアモールで開業した CHINCHOGE CAFE/BAR。お洒落な店内とお得なメニューで女性の利用率が実に 95% を占める。1日を通して、地元住人の会合やママ会、観光帰りのグループ、休日は結婚式の二次会や飲み会など、利用内容は様々だ。

花の香りのように、いつも街に寄り添う店に



わくわくできるこの街が好きです

宵の一一番街で味わう、本格鉄板焼

### Te'PAN Le OMUS



川越市幸町 8-11 明文館 201  
049-298-6377  
12:00-14:30 (L.O.)  
15:30-21:00 (L.O.)  
火曜、第 1・3 月曜定休  
<https://nobeer-nolife.com>

「風情がある夕方の時の鐘を楽しんでもらいたい」。オーナーがこの街に惚れ込み、2015年に開業。あまり馴染みのない場所に飛び込むことへの躊躇はなく、さまざまな活動にも積極的に参加している。現在は観光に関わる新しい取り組みとしてハラールにも対応した。

花の香りのように、いつも街に寄り添う店に



手足などを清める設備も

日本で使われているハラール対応の食材・調味料

ハラール対応の和食

## ムスリムへの偏見を取り払って見えてきた、新しい風景

国内外から様々な人種が訪れる観光地・川越。誰でも同じものを食べられるわけでもなく、宗教的な事情から「食事」を制限をされる人々もっています。特に豚肉やアルコールなどが厳しく制限され、日々の祈りの儀式を欠かせないイムラム教徒の旅行者に対して、どのように対応していけば良いのでしょうか。「ムスリムのための『特別』な料理ではなく、ムスリムも食べられる料理を提供しよう」という考えで実践しています。同じ内容でも日本人も満足出来る和食。偏見をなくす、という意味でも、ムスリムの人々にも気兼ねなく日本食を楽しんでいただけている様子をみると、実践して良かったと感じています」と語る



若女将の長島貴子さん



ハラール対応に関する講演会も開催している

のは、代表兼若女将の長島貴子さん。「食材もダメなものばかり、認証も必要なのでは……最初は飲食店として経営する上でのハードルも高いのかな」と抵抗がありました。が、よく調べてみると、一番大切なことは提供内容や調理情報を開示して、ムスリムの人々の不安を取り除いてあげることが一番重要なと気づきました。彼らはそのポリシーを見て、自分で食べていいものかどうかを判断していることを進めていかなければと考えています」

現在ではお祈りのための部屋も一室用意し、イスラム教徒の和食体験を積極的に受け入れている川越幸すし。世界に向かって老舗店の挑戦に、川越の仲間たちも次々とハラール料理やムスリムの人々が購入されたおもてなし。川越でも始まっています。

### 川越幸すし

川越市元町 1-13-7  
049-224-0333  
平日 11:30-15:00 (L.O.14:00)  
17:00-22:00 (L.O.21:00)  
土日 11:00-15:30 (L.O.14:30)  
17:00-21:00 (L.O.20:00)  
<https://www.kawagoe-kousushi.com>





1

## (公社)小江戸川越観光協会 札の辻観光案内所



外国人観光客への対応を  
もっと進めていきたいですね。  
おすすめは  
仙波東照宮と旧山崎家別邸。

観光協会職員

増田 利江さん（左）  
青木 隆夫さん（右）

## Information

川越市元町1-15-8  
電話 049-227-8233  
平日 9:30-17:00  
土・日・祝 10:00-17:00  
12月29日～1月2日休み



川越のことは  
おまかせ！

2

## 仲町観光案内所



昔ながらのものを  
残そうとしている想いを伝えたい！  
ふとしたところに佇む洋風建築が、  
川越らしくて素敵です。

観光協会職員

福原 和子さん（左）  
日向野 邦男さん（右）

## Information

川越市仲町2-3  
4月～6月 9:30-18:00  
7月～10月 9:30-19:00  
11月～3月 9:30-17:00  
年中無休



# 川越市 観光 案内所って こんな ところ

3

## 本川越駅観光案内所



外国語対応はお任せください！  
市民の方にも毎日多く  
ご利用いただいています。

## Information

川越市新富町1丁目22  
西武本川越ペペ1階  
4月～6月 9:00-18:00  
7月～10月 9:00-19:00  
11月～3月 9:00-17:00  
年中無休



チーフコンシェルジュ  
間 志津江さん（右）  
コンシェルジュ  
林 明麗さん（左）



最近は欧米からの方のご利用も  
増えてきました。  
川越まつり会館のお囃子の実演が  
おすすめです（日・祝のみ）。

## Information

川越市脇田町24-9  
電話 049-222-5556  
4月～6月 9:00-18:00  
7月～10月 9:00-19:00  
11月～3月 9:00-17:00  
年中無休

## 4 川越駅観光案内所



## 新入会員紹介

会員名	所在地	TEL
トリック 3D アート inCOEDO	〒350-0062 川越市元町 1-13-1	049-298-4727
株式会社丹青社	〒108-8220 東京都港区港南 1-2-70 品川シーズンテラス 19F	03-6455-8100
Dr. ストレッヂ 川越店	〒350-1122 川越市脇田町 105 アトレ川越 6F	049-299-5070
川越産農産物ブランド化連絡会	〒350-8601 川越市元町 1-3-1 (事務局: 農政課)	049-224-5939

会員名	所在地	TEL
Coide	〒350-0057 川越市大手町 7-16	049-225-6675
川越プリン	〒350-0063 川越市幸町 1-13	049-277-5762
スウィート エール	〒350-0043 川越市新富町 1-8-11-202	-
はやしハム株式会社	〒350-1155 川越市大字下赤坂 671-4	049-264-1126

## おもてなし Information

このページは広告が入っておりました

### 観光協会札の辻事務所の活用について

当観光協会の札の辻事務所（川越市元町1-15-8）は藏造りの町並みに位置しており、多くの観光客の方が立ち寄ります。そこで、この事務所の一角を、会員の皆様の活動状況の展示や物販の場としてお貸しいたします。詳細については、下記担当者までお問い合わせください。

小江戸川越観光協会 山口 英史  
TEL:049-227-9496

### 小江戸サミット開催



川越市、栃木県栃木市、千葉県香取市（旧佐原市）は、江戸との舟運で栄え、江戸情緒を残す藏造りの町並みと江戸天下祭の影響を受けた山車祭りがあることから「小江戸」と呼ばれています。小江戸サミットは、3市の市長および市民が一堂に会し、「小江戸」をキーワードとするまちづくりについて考え、話し合う催しとして、平成8年に栃木市を会場として始まり、毎年続いている。今年は川越市での開催となり、11月18日（日）2市からの約100名が来川され、きもの日に合わせ着物姿で町中を散策され、交流会に望まれました。

小江戸川越  
おもてなし  
平成30年12月28日 発行



発行 公益社団法人 小江戸川越観光協会  
〒350-0062 埼玉県川越市元町1-15-8  
TEL : 049-227-8233

印刷 株式会社 櫻井印刷所

本誌は著作権法の保護を受けています。  
内容を無断で転写、複製、転載することは禁じられています。

撮影 中村香奈子 小松正樹 櫻井由理  
デザイン 中篠康雄 佐藤ひろみ  
編集 櫻井理恵

### 編集後記

今回の特集は、平成30年が明治150年に当ることから、江戸から明治、大正、昭和と時代を経るなかでの川越の変遷を振り返ってみました。明治26年の川越大火からも125年が経ちました。直後の復興として建てられた蔵造りはまさにその歳を迎えていました。大火から100年目が平成5年でした。この年は一番街の電線類地中化工事が前年度に完成し、町並みにとっての新たな、晴れのデビューの年でもありました。そこから四半世紀、現在は人がいて当たり前の風景ですが、当時は「なぜ人がいない、モノが売れない」というところからのスタートでした。「民が主導し、公が支援する」川越流のまちづくりは今も全国の先進事例とされています。先達のご苦労や、時宜を得た決断が今の街をつくってきたように、今を生きる私達は、これから川越に何を伝え、残していくのか……過去のターニングポイントを取材するなか、思いを新たにしました。

（公社）小江戸川越観光協会 専務理事兼事務局長  
加藤忠正

### きもの供養開催報告



11月18日（日）きもの日実行委員会により、きもの日7周年記念事業として「きもの供養」が市内蓮馨寺で執り行われました。事前にお引取りした着物17着の供養をおこないました。

### 平成31年度 小江戸ブランド商品 「川越セレクション」新規申請募集について

平成31年度小江戸川越ブランド商品「川越セレクション」の新規申請を受け付けます。この機会により多くの商品の申請を心よりお待ちしています。お申込み方法・支援活動などの詳細については、当協会HPをご覧いただか、電話にてお問い合わせください。

申請受付期間 平成31年1月4日（金）～31日（木）

新規登録申請料 5,000円（1年後更新）

